

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年02月02日

計画の名称	踏切事故の解消による安全・安心の確保(防災・安全)											
計画の期間	平成30年度～令和4年度(5年間)											
交付対象	大阪府,富田林市,泉佐野市											
計画の目標	法指定された踏切について、課題の抜本的対策となる限度額立体交差(鉄道高架)により当該踏切を除去し、交差道路を合わせて整備することにより、歩行者、児童等の安全や通行の円滑を確保するとともに、鉄道による地域分断を解消し、地域の発展や活性化を図るものである。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	17,265	A	17,265	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					H30当初	R2末	R4末
1	踏切除却することによる踏切事故確率の減少						
	踏切事故確率の減少				0%	0%	100%
	踏切数(2)の減少 = 踏切事故確率の減少(%) (喜志第2号踏切)						
2	踏切における渋滞解消を図る						
	1日あたりの遮断時間の減少				210分	210分	0分
	1日あたりの踏切遮断時間 = 【当初: H26踏切実態調査データ(喜志第2号踏切)】						
3	踏切拡幅することによる安全な歩道空間の整備率の向上						
	安全な歩道空間の整備率の向上(泉佐野8号踏切)				0%	100%	100%
	安全な歩道空間の整備率の向上(泉佐野8号踏切)						

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											H30	H31	R02	R03	R04		
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	大阪府	直接	大阪府	都道府 県道	改築	(主)美原太子線	踏切除却(交通連携) L=1.0km	富田林市						7,000	1.1	-
		P32より。																	
	A01-002	道路	一般	富田林市	直接	富田林市	市町村 道	改築	(他)桜井1号線	踏切除去	富田林市						1,000		-
	A01-003	道路	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	市町村 道	改築	(他)羽倉崎新安松線	踏切拡幅 W=10.55m	泉佐野市						265		-
	A01-004	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	3・4・221-3大県本郷線	バイパス L=0.6km	柏原市						9,000		-
		P32より。																	
															小計		17,265		
															合計		17,265		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	1,436	1,195	567	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1,436	1,195	567	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	905	662	110	
支払済額 (e)	531	1,438	1,119	110	
翌年度繰越額 (f)	905	662	110	0	
うち未契約繰越額(g)	18	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	1.25	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					